

弘前 りんご 映画祭 2013

今年も
粒どろい！

8日(金)

18:30 ハーブ & ドロシー
ふたりからの贈りもの

9日(土)

10:30 宵待草
13:30 こまどり姉妹がやって来る
ヤァ！ヤァ！ヤァ！
15:30 BOX 袴田事件 命とは
18:00 青い春

10日(日)

10:30 どこまでもいこう
13:30 少年と自転車
15:30 蜂蜜
18:00 友だちのうちはどこ？

11.8fri-10sun
弘前中三8F・スペースアストロ



チケット

1回券 前売 1000円 当日 1200円
3回券 前売 2500円 ※前売のみ

◎チケット取扱店

弘前中三、紀伊國屋書店 弘前店、弘前大学生協
まちなか情報センター、弘前市立百石町展示館

ゲスト

塩田明彦氏 (『どこまでもいこう』監督)

主催 まちなかりんごだらけ実行委員会、npo harappa
問合 npo harappa 電話 0172-31-0195 e-mail post@harappa-h.org



開催にあたり



おいしい映画 今年も粒ぞろい

今年もやります、弘前りんご映画祭。「ハーブ&ドロシーふたりからの贈りもの」は、去年のオープニングに駆けつけた人は必見。あつましい夫妻、ハーブとドロシーが、自分たちのアートコレクションをアメリカ中の美術館に贈る旅に出るのでから。

そして二日目。弘前に、涙と感動の「こまどり姉妹がやって来る」ヤァ！かと思えば、弘前出身の名バイプレーヤー新井浩文の代表作二本が勢揃い。そして「宵待草」。70年代の弘前の街並みが映画では大正時代に生まれ変わり、それを40年後の弘前で見ようという何とも倒錯的な体験をお楽しみ下さい。

最終日。男の子の目を通して世界を見つめる日。「どこまでもいこう」は、5年生の新学期をむかえたアキラと光一君。「蜂蜜」は、トルコの山奥に住む6才のユスフ君。「自転車と少年」は、フランスの養護施設でもうすぐ12才になるシシル君。「友だちのうちはどこ？」は、イランの小学生アハマッド君。皆さん、ぜひ、この5人の男の子たちにエールを送って下さい。

開催概要

弘前りんご博覧会の一環として、弘前市中心市街地にて、3日間にわたり約8作品上映する「弘前りんご映画祭」。昨年より開催され今年で2回目を迎えます。

知恵の実とも呼ばれる「りんご」。そんなりんごをキーワードに、弘前ゆかりの映画をはじめ、知的探究心を刺激する映画作品を上映します。りんごの名産地である弘前から、りんごの持つ“いのち”と“知的探究心”の世界的かつ普遍的な象徴の意味を込め、世界中の映画を対象としプログラムいたしました。本映画祭を通じて、映画の魅力を観客の皆様にご伝えるとともに、文化を発信する都市・弘前をPRします。

事業名：弘前りんご映画祭

開催日：2013年11月8日(金)ー10日(日)

会場：弘前中三8F スペース・アストロ（青森県弘前市土手町49-1）

主催：まちなかりんごだらけ実行委員会、npo harappa

問合せ：npo harappa 電話. 0172-31-0195 post@harappa-h.org

タイムテーブル -----

【11月8日(金)】りんご=アートの実

18:30 『ハーブ&ドロシー ふたりからの贈りもの』

☆上映後、シネマトーク「飯田高誉氏(青森県立美術館美術統括監)『アートをコレクションするということ』」

【11月9日(土)】弘前ゆかりの映画たち

10:30 『宵待草』

13:30 『こまどり姉妹がやって来る ヤア!ヤア!ヤア!』

15:30 『BOX 袴田事件 命とは』

18:00 『青い春』

【11月10日(日)】少年たちの目

10:30 『どこまでもいこう』 ☆上映後、塩田監督による舞台挨拶あり

13:30 『少年と自転車』

15:30 『蜂蜜』

18:00 『友だちのうちはどこ?』

チケット -----

1回券 前売 1000円 当日 1200円

3回券 2500円 ※前売のみの取扱

《取扱店》

弘前中三、まちなか情報センター、百石町展示館、紀伊國屋書店弘前店、弘前大学生協

《予約》

npo harappa 内

電話 0172-31-0195 E-mail post@harappa-h.org

※チケットのご予約の場合は、お名前、ご住所、電話番号、チケット枚数をご連絡ください。

読者・視聴者チケットプレゼント -----

読者・視聴者プレゼントとしまして、招待券ペアチケット2組をご用意しております。プレゼントコーナー等でご紹介いただければ幸いです。ご入用の際は事務局(担当:小杉 [harappa]0172-31-0195 / post@harappa-h.org)までお申し付け下さい。当方から直接の郵送も可能です。

上映作品

ハーブ&ドロシー

ふたりからの贈り物 監督：佐々木芽生 (2013/Blu-ray/HD/87分)



© 2013 Fine Line Media, Inc. All Rights Reserved.

アート好きのごく平凡な郵便局員とその妻が、少ない稼ぎの中でコツコツと集めていたら、いつしか世界屈指の現代アート・コレクターになっていた、という奇跡の人生を描いた佐々木芽生監督のアート・ドキュメンタリー「ハーブ&ドロシーアートの森の小さな巨人」の続編。

二人が収集した作品は国立美術館でも収蔵しきれなくなり、全米50州の美術館にコレクションを寄贈する旅に出る。

上映後、シネマトーク「アートをコレクションするということ」【スピーカー飯田高登氏（青森県立美術館美術統括監）】

宵待草 監督：神代辰巳

(1974/35mm/シネスコ/96分)



退廃と浪漫の大正時代。政治家令嬢誘拐計画に失敗したアナキスト集団・ダムダム団のテロリストとブルジョワ息子、そして誘拐された令嬢の逃避行が始まる。弘前市紺屋町の消防屯所、吉野町のレンガ倉庫の黒塚、弘前公園、長勝寺山門、弘南電鉄大鰐線のツートンカラーの旧型車両など、私たちはスクリーンに映し出される40年前の弘前の風景に懐かしさを覚えると同時に、映画を「活動写真」と呼んだ時代のどこにもない街の風景を形作っている奇跡に驚く。

弘前ロケ作品

こまどり姉妹がやって来る ヤァ！ヤァ！ヤァ！ 監督：片岡英子

(2009/35mm/ヴィスタ/71分)



© ALTAMIRA PICTURES, INC.

70歳を過ぎた現在も歌手生活を続け全国を飛び回る「こまどり姉妹」の「決定版」ドキュメンタリー。貧困から夜逃げした一家を支えるため、双子の姉妹は唄を歌い日銭を稼ぐ。そして上京、山で「流し」から始めた彼女たちはやがてスターへの階段を上り始める。新曲のヒット、紅白歌合戦や映画への出演。しかし姉妹に次々と試練が襲いかかる。ステージでファンに刺され、病魔に冒され…涙と、ほのぼのとした笑いの、エンターテインメント。懐かしい唄と映像満載。

弘前ゆかりの双子デュオ歌手のドキュメンタリー

BOX 袴田事件 命とは

監督：高橋伴明 (2010/35mm/ヴィスタ/117分)



死刑判決が確定している実在の事件を題材に、裁判員制度が導入された現在、人を裁くことの重みと難しさを改めて見つめた社会派ドラマ。1966年に起きた強盗殺人放火事件（いわゆる袴田事件）で一番の死刑判決に関わり、その後「無罪と確信していた」と告白した元裁判官・熊本典道を主人公に、警察の捜査への疑問と裁判官の苦悩を描き出す。なお、この事件は現在も再審請求が続いている。無罪を主張する元ボクサー役を弘前市出身の新井浩文が熱演する

弘前出身俳優・新井浩文主演作品

青い春 監督：富田利晃 (2002/35mm/ヴィスタ/83分)



男子校の朝日高等学校・屋上で、行われた伝統の“ペランダ・ゲーム”。新記録を出して勝利した九條（松田龍平）は、新しい番長として学校を仕切ることになる。風貌からは想像できないほどの強さで、下級生らを圧倒する九条。だが傍らで、腐れ縁の青木はふつふつと嫉妬心をたぎらせていた新井浩文演じる青木の変貌が、痛々しくも心に残る怪物。THEE MICHELLE GUN ELEPHANTの名曲が、彼らの世界を彩る。

弘前出身俳優・新井浩文出演作品

上映作品

どこまでもいこう 監督：塩田明彦 (1999年/35mm/ヴィスタ/75分)



© ユーロスベース・TBS・PUG POINT

団地の小学校に通うアキラと光一は、5年生になって別々のクラスになった。新しいクラスメイトが遊び仲間に加わる。転校生がアキラと光一を遠ざけ、そして再び近づける。少年たちは、ピストル型の発射機でロケット弾花火を川原で飛ばし、2B弾を搭載した紙飛行機を団地の窓から飛ばす。危ないことが大好きな少年たちにとっては、すべてが「史上最大の作戦」だが、一輪車の少女たちは、「男子ってさ、バカだよ」とささやく。母子家庭の野村君が描いた絵が、映画に余韻をもたらす。

上映後、塩田明彦監督による舞台挨拶あり

少年と自転車 監督：ジャン＝ピエール&リュック・ダルデンヌ (2011/ベルギー＝フランス＝イタリア/35mm/ヴィスタ/87分)



© Christine PLENUS

監督のダルデンヌ兄弟は、日本で聞いた「迎えに来ない親を施設で待ち続ける子どもの話」をもとにして、この映画を作った。施設に預けられたシ ril 少年の願いは父親と一緒に暮らすことだ。美容師のサマンサは、父親が換金したシ ril の自転車を買い戻し、週末だけの里親になる。二人が尋ね当てた父親は、シ ril との再会を喜ばず、息子をサマンサに押し付ける。シ ril は悲嘆に暮れ、自棄になり、悪事に引き込まれる。果たして、シ ril は不幸な日々から抜け出せるのだろうか。

カンヌ国際映画祭 グランプリ / ヨーロッパ映画賞 最優秀脚本賞

蜂蜜 監督：セミフ・カプランオール (2010/トルコ＝ドイツ/35mm/ヴィスタ/103分)

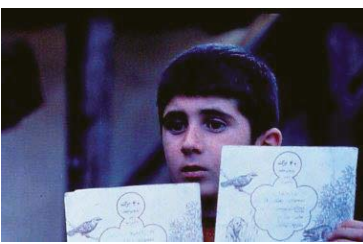


© 2010 Kaplan Film Production & Heimatfilm GmbH + Co KG

監督のダルデンヌ兄弟は、日本で聞いた「迎えに来ない親を施設で待ち続ける子どもの話」をもとにして、この映画を作った。施設に預けられたシ ril 少年の願いは父親と一緒に暮らすことだ。美容師のサマンサは、父親が換金したシ ril の自転車を買い戻し、週末だけの里親になる。二人が尋ね当てた父親は、シ ril との再会を喜ばず、息子をサマンサに押し付ける。シ ril は悲嘆に暮れ、自棄になり、悪事に引き込まれる。果たして、シ ril は不幸な日々から抜け出せるのだろうか。

ベルリン国際映画祭 金熊賞受賞

友だちのうちはどこ？ 監督：アッバス・キアロスタミ (1987/イラン/35mm/ヴィスタ/85分)



© Institute for the Intellectual Development of children and Young Adults

イラン北部コケール村の小学校が舞台。「宿題をちゃんとやらないと退学だ」と先生は叱責するが、主人公の少年アハammadは、間違っ て友だちの宿題を家に持ち帰ってしまふ。友だちの家を探してアハammadは彼の住む遠い隣村と自分の村を奔走するが、友だちにはなかなか出会えない…子どもたちの演技(とそれを可能にした演出)が話題となりさまざまな映画賞を獲得したキアロスタミ監督の出世作。日本では1993年公開。「なみおか映画祭」でも上映され、絶賛された。

ロカルノ映画祭 銅豹賞 / ファジル国際映画祭 審査員特別賞

劇中画像提供について



各作品の劇中画像および映画祭ポスター画像を JPEG データでご用意しております。御入用の際は事務局(担当:小杉 [harappa]0172-31-0195/post@harappa-h.org)までお申し付け下さい。

弘前りんご博覧会

生産量日本一を誇る弘前にとって、りんごは産業としてのみならず、私たちの生活に根ざした「文化」といえるでしょう。この素晴らしい「りんご」の実りに感謝して、今年も弘前の秋はりんご一色に染め上ります。食、街並み、イベントなど、あらゆる場面にりんごを散りばめ、私たちの「りんご」の素晴らしさを広く内外にアピールします

※弘前りんご博覧会に関するお問い合わせ

弘前市観光政策課 電話 0172-35-1128